

MeBio 数学テキスト

東進数学コンクール
2018年9月

—問題と解答—

第 1 章

問題

§ 1 問題

東京出版発行の「大学への数学」の裏表紙内側に、毎月「東進数学コンクール」が掲載されています。高校生向けの超難問ですが、数学的にも深い意味を持つものばかりで、出題者の能力に感心するばかりです。2018年9月号の問題は次の通りでした。ほったらかしにしておくとも完全に忘れてしまうので、メモを残すことにします。

東進の問題 1-1-1

正の整数 n に対し、 $|x^2 - y^2|$ が n 以下の奇数であるような整数 x, y の組の個数を $f(n)$ 、 $|x^2 - y^2|$ が n 以下の正の偶数であるような整数 x, y の組の個数を $g(n)$ で表す。このとき

$$|f(n) - g(n) - (4 \log 2)n| < 12\sqrt{n}$$

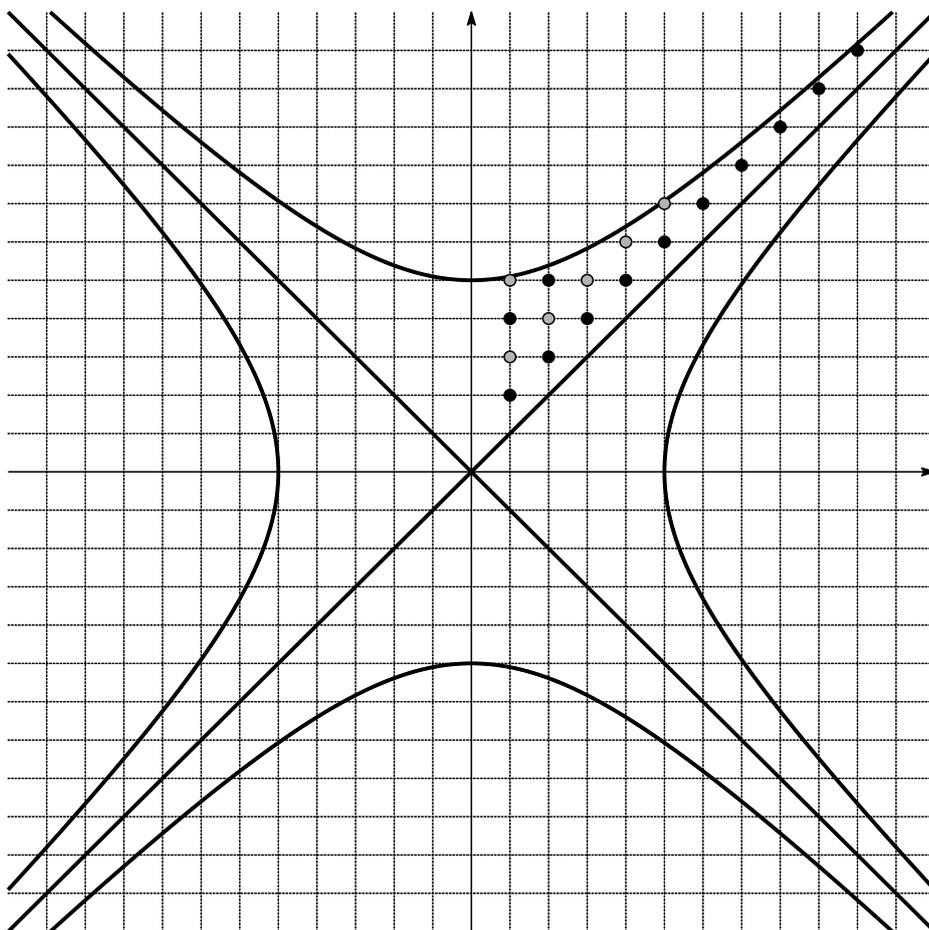
が成り立つことを示せ。

第 2 章

解答

§ 1

$|x^2 - y^2| = n$ は図のように 4 つの双曲線からできている．これら 4 つの双曲線で囲まれた領域に含まれる格子点は無限個存在するが， $y = \pm x$ 上の格子点を除外すると有限個しかない．



本問はそれら有限個の格子点のうち， $x \not\equiv y \pmod{2}$ のもの (●) を $f(n)$ 個， $x \equiv y \pmod{2}$ のもの (○) を $g(n)$ 個として，その個数の差を評価せよという問題である．

最初は $f(n)$ や $g(n)$ を何らかの面積と比較し上下から挟み込む問題だと思ったのだが，面積評価だと評価のオーダーがどうしても $O(n)$ になってしまう． $O(\sqrt{n})$ にはできそうもない．また $\log 2$ が表れているのもあまり自然な感じがしない．

いろいろ考えて，この $\log 2$ は面積評価ではなく $1 - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \dots$ からきているのだということが分かった．

領域 S を $S = \{(x, y) \mid x > 0, y > x, |y^2 - x^2| \leq n\}$ と置く. S における (●の数) - (○の数) を考える. この数を $h(n)$ と置く. $|x^2 - y^2| = n$ の x 切片, y 切片は $\pm\sqrt{n}$ であるが, $[\sqrt{n}]$ の偶奇によって場合分けして考えよう, ただし後の評価で必要となるので, 小さい n に関しては先に調べておく

- (1) $n = 1$ の場合 与式 $\iff |4 - 0 - 4\log 2| < 12$ でこれは成立している.
- (2) $n = 2$ の場合 与式 $\iff |4 - 0 - 4\log 2| < 12\sqrt{2}$ でこれは成立している.
- (3) $n = 3$ の場合 与式 $\iff |12 - 0 - 4\log 2| < 12\sqrt{3}$ でこれは成立している.
- (4) $n = 4$ の場合 与式 $\iff |12 - 4 - 4\log 2| < 24$ でこれは成立している.

そこで以下では $n \geq 5$ とする.

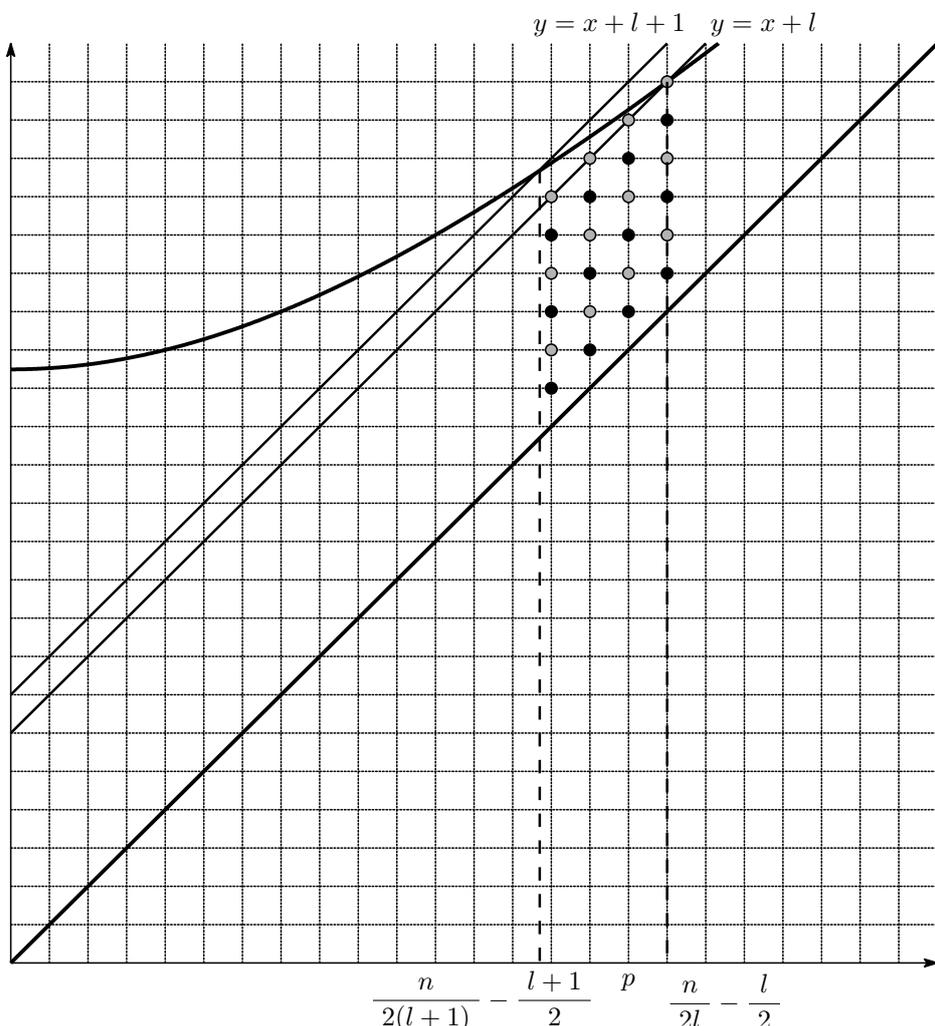
(5) $[\sqrt{n}] = 2m$ の場合.

$n \geq 5$ であったから $m \geq 1$ である.

x 軸上に存在する格子点は $(\pm 1, 0), \dots, (\pm 2m, 0)$ だから (●の数) と (○の数) は同数である. y 軸上の格子点も同様. 従って $h(n) = \frac{f(n) - g(n)}{8}$ である. S の格子点を $y = x + k$ 上の点に分解して数えよう.

k を $1 \leq k \leq 2m$ を満たす自然数とする. $y = x + k$ と $y^2 - x^2 = n$ の 1 象限の交点は $\left(\frac{n}{2k} - \frac{k}{2}, \frac{n}{2k} + \frac{k}{2}\right)$ である.

p が $\frac{n}{2(l+1)} - \frac{l+1}{2} < p \leq \frac{n}{2l} - \frac{l}{2}$ を満たす自然数である場合, S の領域内で $x = p$ 上には ●, ○が下からこの順に交互に l 個並ぶ. l が奇数であれば (●の数) - (○の数) = 1 であり, l が偶数であれば (●の数) - (○の数) = 0 である.



○
●

従って $h(n)$ は次のように (誤差なく) 表される.

$$h(n) = \left(\left[\frac{n}{2 \cdot 1} - \frac{1}{2} \right] - \left[\frac{n}{2 \cdot 2} - \frac{2}{2} \right] \right) + \left(\left[\frac{n}{2 \cdot 3} - \frac{3}{2} \right] - \left[\frac{n}{2 \cdot 4} - \frac{4}{2} \right] \right) + \cdots + \left(\left[\frac{n}{2 \cdot (2m-1)} - \frac{2m-1}{2} \right] - \left[\frac{n}{2 \cdot 2m} - \frac{2m}{2} \right] \right)$$

この式を上下から評価しよう. 一般に $a - 1 < [a] \leq a$ であるから

$$a - b - 1 < [a] - [b] < a - b + 1$$

が成り立つ. 従って上からの評価は

$$\begin{aligned} h(n) &< \left(\left(\frac{n}{2 \cdot 1} - \frac{1}{2} \right) - \left(\frac{n}{2 \cdot 2} - \frac{2}{2} \right) + 1 \right) + \left(\left(\frac{n}{2 \cdot 3} - \frac{3}{2} \right) - \left(\frac{n}{2 \cdot 4} - \frac{4}{2} \right) + 1 \right) \\ &\quad + \cdots + \left(\left(\frac{n}{2 \cdot (2m-1)} - \frac{2m-1}{2} \right) - \left(\frac{n}{2 \cdot 2m} - \frac{2m}{2} \right) + 1 \right) \\ &= \left(\frac{n}{2 \cdot 1} - \frac{n}{2 \cdot 2} + \frac{3}{2} \right) + \left(\frac{n}{2 \cdot 3} - \frac{n}{2 \cdot 4} + \frac{3}{2} \right) \\ &\quad + \cdots + \left(\frac{n}{2 \cdot (2m-1)} - \frac{n}{2 \cdot 2m} + \frac{3}{2} \right) \\ &= \frac{n}{2} \left(\frac{1}{1} - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \cdots + \frac{1}{2m-1} - \frac{1}{2m} \right) + \frac{3}{2} m \end{aligned}$$

ここで

$$\begin{aligned} &\frac{1}{1} - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \cdots + \frac{1}{2m-1} - \frac{1}{2m} \\ &= \frac{1}{m+1} + \frac{1}{m+2} + \cdots + \frac{1}{2m} < \int_m^{2m} \frac{1}{x} dx = \log 2 \end{aligned}$$

以上より

$$\begin{aligned} h(n) &< \frac{n}{2} \log 2 + \frac{3}{2} m = \frac{n}{2} \log 2 + \frac{3}{2} \cdot \frac{[\sqrt{n}]}{2} \leq \frac{n}{2} \log 2 + \frac{3}{4} \sqrt{n} \\ \implies f(n) - g(n) - (4 \log 2)n &< 6\sqrt{n} \\ \implies f(n) - g(n) - (4 \log 2)n &< 12\sqrt{n} \end{aligned}$$

次に下からの評価であるが

$$\begin{aligned} h(n) &> \left(\left(\frac{n}{2 \cdot 1} - \frac{1}{2} \right) - \left(\frac{n}{2 \cdot 2} - \frac{2}{2} \right) - 1 \right) + \left(\left(\frac{n}{2 \cdot 3} - \frac{3}{2} \right) - \left(\frac{n}{2 \cdot 4} - \frac{4}{2} \right) - 1 \right) \\ &\quad + \cdots + \left(\left(\frac{n}{2 \cdot (2m-1)} - \frac{2m-1}{2} \right) - \left(\frac{n}{2 \cdot 2m} - \frac{2m}{2} \right) - 1 \right) \\ &= \left(\frac{n}{2 \cdot 1} - \frac{n}{2 \cdot 2} - \frac{1}{2} \right) + \left(\frac{n}{2 \cdot 3} - \frac{n}{2 \cdot 4} - \frac{1}{2} \right) \\ &\quad + \cdots + \left(\frac{n}{2 \cdot (2m-1)} - \frac{n}{2 \cdot 2m} - \frac{1}{2} \right) \\ &= \frac{n}{2} \left(\frac{1}{1} - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \cdots + \frac{1}{2m-1} - \frac{1}{2m} \right) - \frac{1}{2} m \end{aligned}$$

ここで

$$\begin{aligned}
 & \frac{1}{1} - \frac{1}{2} + \frac{1}{3} - \frac{1}{4} + \cdots + \frac{1}{2m-1} - \frac{1}{2m} \\
 = & \frac{1}{m+1} + \frac{1}{m+2} + \cdots + \frac{1}{2m} \\
 = & \frac{1}{m} + \frac{1}{m+1} + \frac{1}{m+2} + \cdots + \frac{1}{2m-1} + \left(\frac{1}{2m} - \frac{1}{m} \right) \\
 > & \int_m^{2m} \frac{1}{x} dx - \frac{1}{2m} \\
 = & \log 2 - \frac{1}{2m}
 \end{aligned}$$

以上より

$$h(n) > \frac{n}{2} \log 2 - \frac{n}{4m} - \frac{1}{2}m$$

後は $\frac{n}{4m} + \frac{1}{2}m < \frac{3}{2}\sqrt{n}$ さえいえれば $f(n) - g(n) - (4 \log 2)n > -12\sqrt{n}$ が示せたことになる。評価が甘いのでこれは容易。実際 $5 \leq n$ かつ $2m \leq \sqrt{n} < 2m+1$ なので

$$\begin{aligned}
 \frac{n}{4m} + \frac{1}{2}m & < \frac{4m^2 + 4m + 1}{4m} + \frac{1}{2}m = \frac{3}{2}m + 1 + \frac{1}{4m} \\
 & \leq \frac{3}{2}m + \frac{5}{4} \leq \frac{3}{2}m + \frac{3}{2}m = 3m \leq \frac{3}{2}\sqrt{n}
 \end{aligned}$$

(6) $[\sqrt{n}] = 2m+1$ の場合.

$n \geq 5$ であったが、この場合に当てはまるのは $n \geq 9$ である。 $m \geq 1$ も成り立っている。

x 軸上に存在する格子点は $(\pm 1, 0), \dots, (\pm(2m+1), 0)$ だから (●の数) = (○の数) + 2 である。 y 軸上の格子点も同様。従って $h(n) = \frac{f(n) - g(n) - 4}{8}$ である。

先ほどと同様に考えて

$$\begin{aligned}
 h(n) = & \left(\left[\frac{n}{2 \cdot 1} - \frac{1}{2} \right] - \left[\frac{n}{2 \cdot 2} - \frac{2}{2} \right] \right) + \left(\left[\frac{n}{2 \cdot 3} - \frac{3}{2} \right] - \left[\frac{n}{2 \cdot 4} - \frac{4}{2} \right] \right) \\
 & + \cdots + \left(\left[\frac{n}{2 \cdot (2m-1)} - \frac{2m-1}{2} \right] - \left[\frac{n}{2 \cdot 2m} - \frac{2m}{2} \right] \right) + \left[\frac{n}{2 \cdot (2m+1)} - \frac{2m+1}{2} \right]
 \end{aligned}$$

$[\sqrt{n}] = 2m$ の場合と違うのは、最後の項が正で単独に表れているところである。

この最終項に関しては $2m+1 \leq \sqrt{n} < 2m+2$ より

$$\begin{aligned}
 0 & \leq \left[\frac{n}{2(2m+1)} - \frac{2m+1}{2} \right] < \frac{n}{2(2m+1)} - \frac{2m+1}{2} < \frac{4m^2 + 8m + 4}{2(2m+1)} - \frac{4m^2 + 4m + 1}{2(2m+1)} \\
 & = \frac{4m+3}{2(2m+1)} = 1 + \frac{1}{2(2m+1)} \leq \frac{7}{6}
 \end{aligned}$$

先ほどの結果と合わせて上からの評価 $h(n) < \frac{n}{2} \log 2 + \frac{3}{2}m + \frac{7}{6}$ を得る。これより

$$\begin{aligned}
& h(n) < \frac{n}{2} \log 2 + \frac{3}{2}m + \frac{7}{6} \\
\iff & \frac{f(n) - g(n) - 4}{8} < \frac{n}{2} \log 2 + \frac{3}{2}m + \frac{7}{6} \\
\iff & f(n) - g(n) < 4n \log 2 + 12m + \frac{40}{3} \\
\implies & f(n) - g(n) - (4 \log 2)n < 24m + 12 \quad \left(\because 12m > \frac{4}{3} \right) \\
\implies & f(n) - g(n) - (4 \log 2)n < 12\sqrt{n}
\end{aligned}$$

最終項が 0 以上なので下からの評価は先ほどと同じ $h(n) > \frac{n}{2} \log 2 - \frac{n}{4m} - \frac{1}{2}m$ が使える.

$$\begin{aligned}
& h(n) > \frac{n}{2} \log 2 - \frac{n}{4m} - \frac{1}{2}m \\
\iff & \frac{f(n) - g(n) - 4}{8} > \frac{n}{2} \log 2 - \frac{n}{4m} - \frac{1}{2}m \\
\iff & f(n) - g(n) > 4n \log 2 - \frac{2n}{m} - 4m + 4
\end{aligned}$$

ここで $2m + 1 \leq \sqrt{n} < 2m + 2$ より

$$\frac{2n}{m} + 4m - 4 < \frac{8m^2 + 16m + 8}{m} + 4m - 4 = 12m + 12 + \frac{8}{m} < 24m + 12 \leq 12\sqrt{n}$$

従って $f(n) - g(n) - (4 \log 2)n > -12\sqrt{n}$ が証明された.

以上より問題は解決したが、途中の式変形を見る限り右辺は半分の $6\sqrt{n}$ 近くにできそうである。($7\sqrt{n}$ や $6\sqrt{n} + O(1)$ など.) $6\sqrt{n}$ でも不等式は成り立つであろうが、証明はもっと精密なものが必要となるだろう.